

委員会報告

2010～2011年度

No.1

第 1 回

委員会名 会員増強・エクステンション・リテンション

委員長名 L 長井隆充

開催 日時	2010年 8月 4日 水曜日 13時 30分 ～ 15時 45分					
開催 場所	キャビネット事務局会議室					
出席 者	○	河合地区ガバナー		大石第1副地区ガバナー		阿久津第2副地区ガバナー
	○	L 長井隆充 委員長	○	L 関本和幸 副委員長	○	L 近藤健司 副委員長
	○	L 村山義雄 副委員長	○	L 千種 豊 副委員長	○	L 小池輝昭 委員
	○	L 田中隆三 委員	○	L 平塚順三 委員	○	L 齊藤 勝 委員
	○	L 白石正美 委員	○	L 三和田義広 委員	○	L 川俣貴三雄 委員
		L 杉村誠一 委員	○	L 諸星隆之 委員	○	L 花岡光生 委員
	○	L 小島清隆 SA	○	L 大原紘子 副幹事		
	出席オブザーバー(ビジター)					
	○	L 鈴木令子(東京スバルLC)	○	L 片岡洋乃(女性参画・家族会員推進委員会委員長)	○	L 中村安次(女性参画・家族会員推進委員会副委員長)
	○	L 山本康弘(PR・情報委員会委員長)	○	L 吉澤隆志(PR・情報委員会副委員長)	○	L 柴田 誠(PR・情報委員会副委員長)
次 第	司会・進行 L 白石正美					
	1	ガバナー挨拶				
	2	委員長挨拶				
	3	ビジターの紹介				
	4	審 議 後記議題による				
	5	11月までの委員会日程の決定				
	6	次回開催確認				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	会員増強, エクステンション, リテンションについて				
		(1) メンバー減少の原因				
		社会環境の悪化, 年会費, ベテランと若手との間の壁, LCの魅力の欠如, LCがステータスでなくなった, アクティビティのマンネリ化, メンバー一人一人が, 会員増強はLCにとって不可欠との認識の欠落				
		(2) エクステンション, 会員増強, リテンションとは何か。				
		・エクステンション 組織拡大強化, 次世代への継承				
		・会員増強 1単位(1クラブ)の補強。メンバーはふえるが, エクステンションとは異なる。				
		・リテンション 自然の摂理であり, 止められない。しかし, ドロップを上回る人数をふやせば, リテンションは防止される。				
	2	エクステンションの目標				
		・5クラブ結成				
	3	会員増強の目標				
		・330-Aの5, 000人の半分が1人スポンサーすれば, 2, 500人ふえる。				
	4	本委員会の使命と志				
		・ライオンズスピリットの継承, 奉仕人口の拡大, エクステンションと会員増強の実現				
		・これぞLCというものを作るという強い使命感を持ち, 「行動の1年」とする。				

審議経過事項の概要

議 題	審議経過事項の概要
5	時代を見据えたLCを作る ・低額年会費のクラブ、若年層クラブ、女性クラブ、同一職種職能で構成されるクラブ、ユニバーシティクラブ、シニアクラブ、労力奉仕を中心とした地域密着型クラブ
6	エクステンション地域担当副委員長 ・1R～4R L関本, 5R～8R L近藤, 9R～11R L村山, 12R～14R L千種
7	エクステンション重点地域 ・3R L田中, 4R L関本, 9R L齊藤, 10R L白石, L三和田 ・仮称〇〇クラブ ・ゾーン分割 11R2Zに1クラブ結成, 12R1Zに1クラブ結成
8	エクステンションの予定 (1) ファーストライト賞をめざして 9月下旬2クラブ結成 第1回結成会 9月30日 (2) その後は、2010年中に結成式, 2011年3月下旬にCNを挙行。
9	エクステンション実現のための行動計画 ・ZC会、重点地域には委員長が、諮問委員会には副委員長、担当委員がそれぞれ説明に出向く。
10	女性参画・家族会員推進委員会の活動との関係 ・女性クラブのエクステンション、女性、家族会員の増強は女性参画・家族会員推進委員会の活動と重なる。
11	書記、事務局、総務 ・L花岡, L小池
12	委員会の日程(11月まで) 場所はいずれもキャビネット事務局会議室 ・第2回 8月20日(金)13:30～15:30 ・第3回 9月10日(金)13:30～15:30 ・第4回 10月8日(金)13:30～ ・第5回 11月2日(火)13:30～15:30
13	懇親会 ・8月30日(月)18:00～ 於 つきじ植むら新宿センタービル店(同ビル53階)
次回開催日時 場所	2010年 8月 20日 金曜日 13時 30分 ～ 15時 30分 キャビネット事務局会議室
	作 成 者 L 花岡光生